

MODELLISTA

MSD29-42001/2
ミラーカバー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタミラーカバーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本製品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

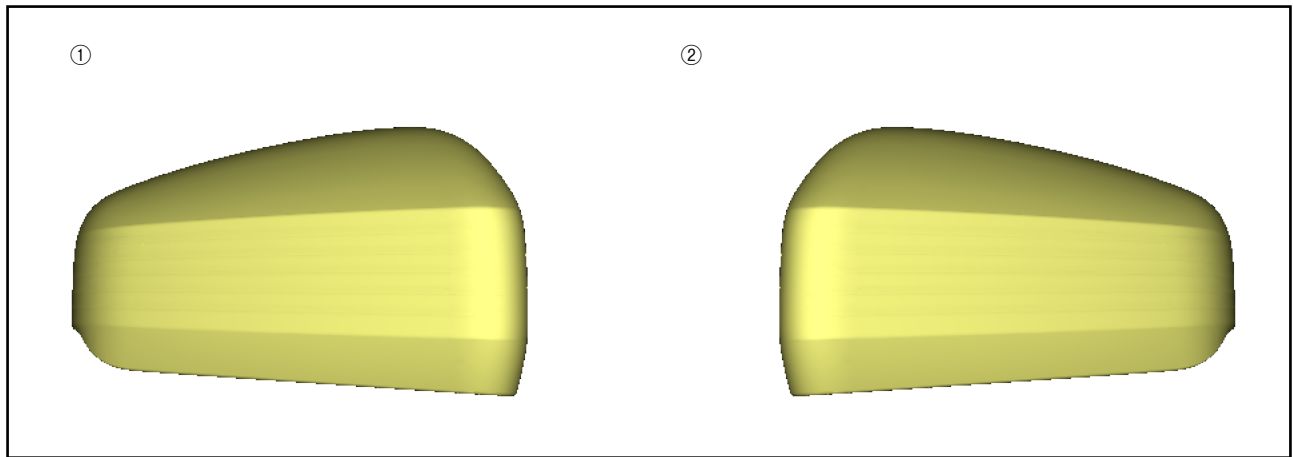
品 番	塗装色	適合車種	備 考
MSD29-42001-A1	プラチナホワイトパールマイカ 〈089〉	RAV4	
MSD29-42001-C0	アティチュードブラックマイカ 〈218〉		
MSD29-42002-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はモデリスタカタログサイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>

■ 構成部品

No.	部 品 名	数量	備 考
①	ミラーカバーRH	1	
②	ミラーカバーLH	1	

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあることを記載しています。



注意

注意事項を守らないと傷害を生ずるおそれがあることを記載しています。

注意

注意事項を守らないと車両部品や装備品が損傷する可能性があることを記載しています。



アドバイス

スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと ❗ 必ず行っていただくこと



警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、傷付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時の傷付きや破損に十分に注意してください。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉がないことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子をはずした場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図	1~2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取り付け構成図	4
4. 未塗装品の取り扱いについて	5
5. 取付準備・取付要領	6~9
6. 取り付け完了後の点検・注意事項	9

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 保護テープ・メジャー（布）・布手袋（きれいな布）・ドライヤー

■ 保証について

本商品は、1年・20,000 kmの保証を実施致します。

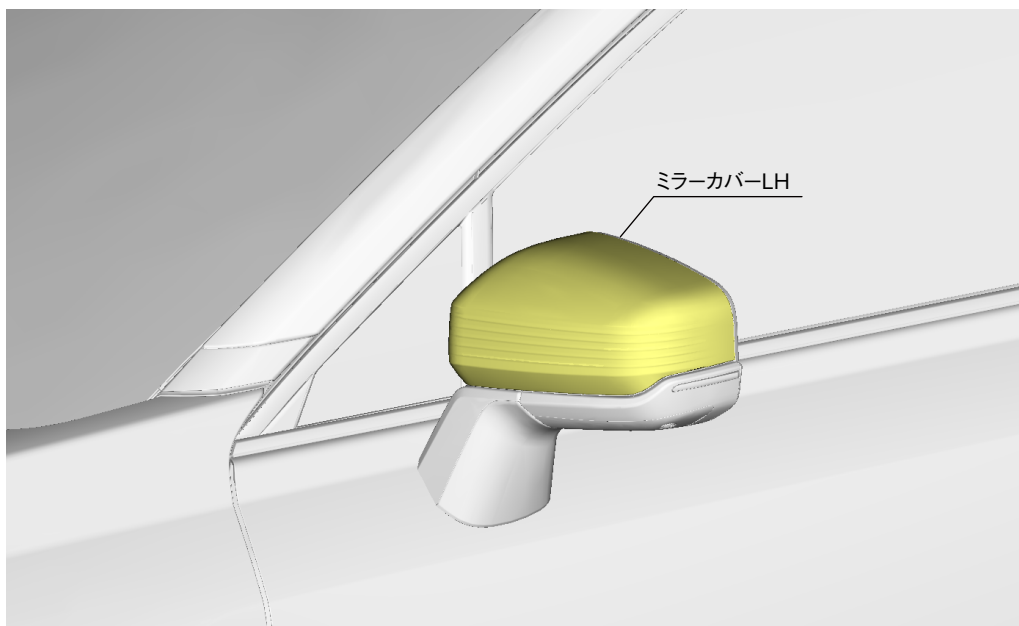
（1年または20,000 km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタパーツカタログサイト＜<https://www.modellista.co.jp/>＞

「保証について」をご覧ください。

■ 取り付け構成図

※LH図示



塗装済み品の取り付けは、6 ページ【取付準備、取付要領】に進み作業を行ってください。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD29-42002-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。

下記要領に従い作業を行ってください。

注 意

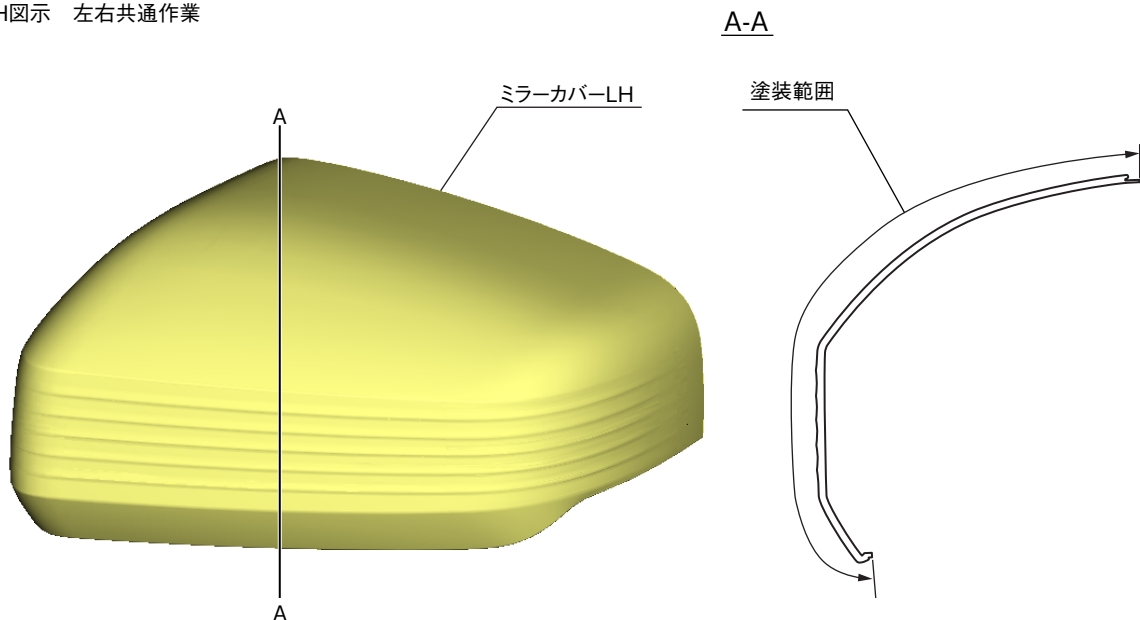
本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

□ ミラーカバーの塗装

1. 図のようにミラーカバーを車両色で塗装する。

※LH図示 左右共通作業



注 意

乾燥温度を 60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。上塗り用の塗装は、ウレタン系をご使用ください。

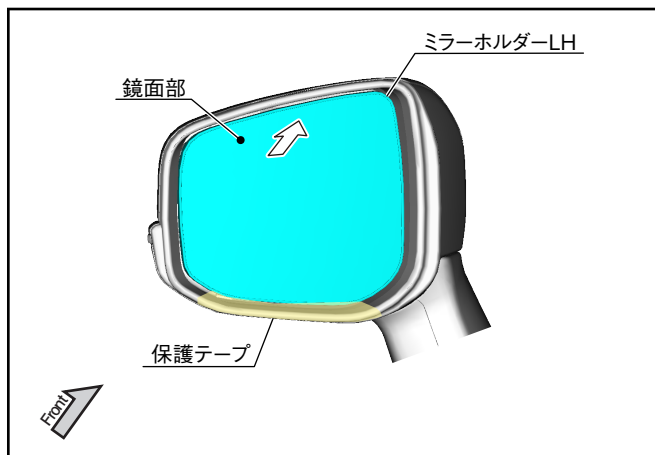
■ 取付準備・取付要領

- ・以下の作業は LH 側を示します。RH 側も同様に作業してください。
- ・作業開始前にバッテリーのマイナス（－）端子をはずしてください。

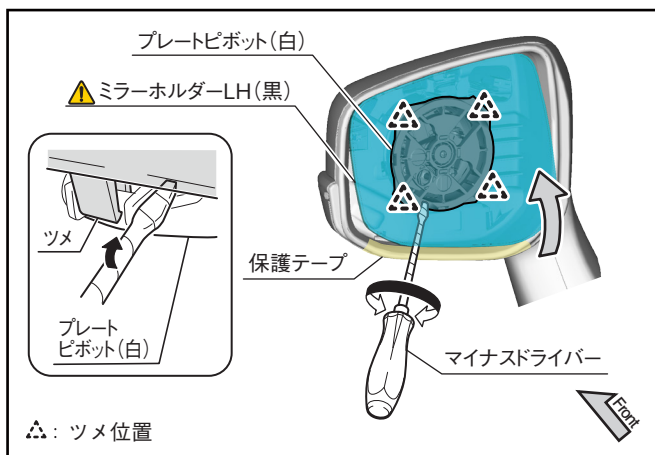
□ ミラーホルダー LH の取りはずし

注 意

- ・鏡面部に指紋や汚れを付けないよう布手袋をするか、きれいな布を当てて鏡面部を押してください。
- ・ミラーホルダーを無理に引っ張ってツメを破損させたり、意匠面に傷を付けないよう慎重に作業してください。



1. ドアミラーボデーの下側に傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。
2. 鏡面上部を押して、鏡面部を上向きに傾ける。

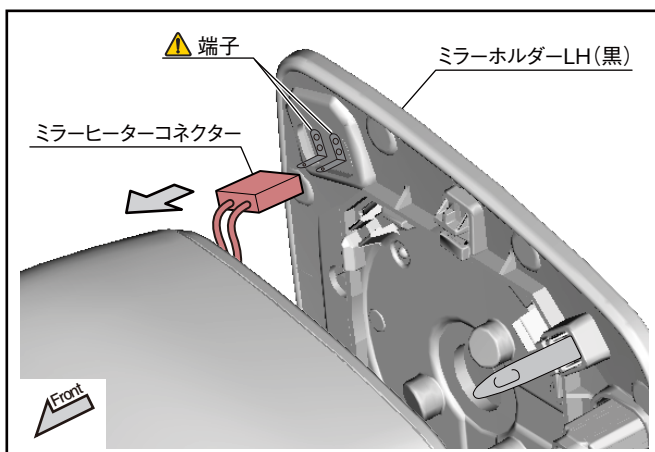


3. 図に従い、保護テープを巻いたマイナスドライバーをミラーホルダー-LH（黒）とプレートピボット（白）の間に挿入し、ツメ（1箇所）の嵌合をはずす。

注 意

嵌合をはずさずに無理にミラーホルダーを引くと、アクチュエーター機構部がはずれたり、鏡面部が割れるおそれがありますので、ミラーホルダー外周部に力をかけてはささないでください。

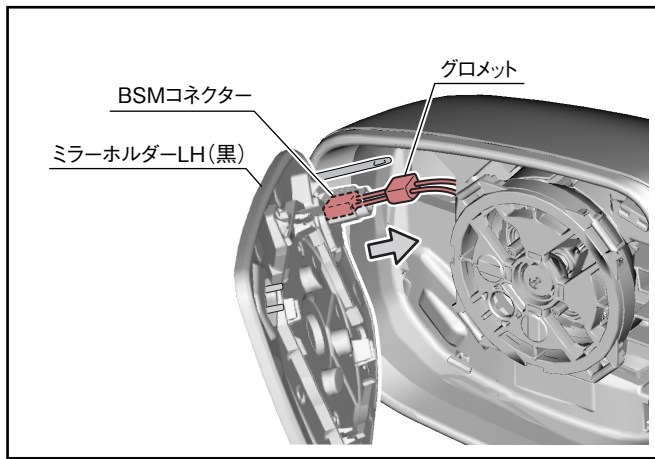
4. 嵌合をはずし隙間ができたミラーホルダー-LH（黒）とプレートピボット（白）の間に保護テープを巻いたマイナスドライバーを挿入し、残りのツメ（3箇所）の嵌合をはずす。



5. ミラーホルダー-LH（黒）背面からミラーヒーターコネクターの接続をはずす。

注 意

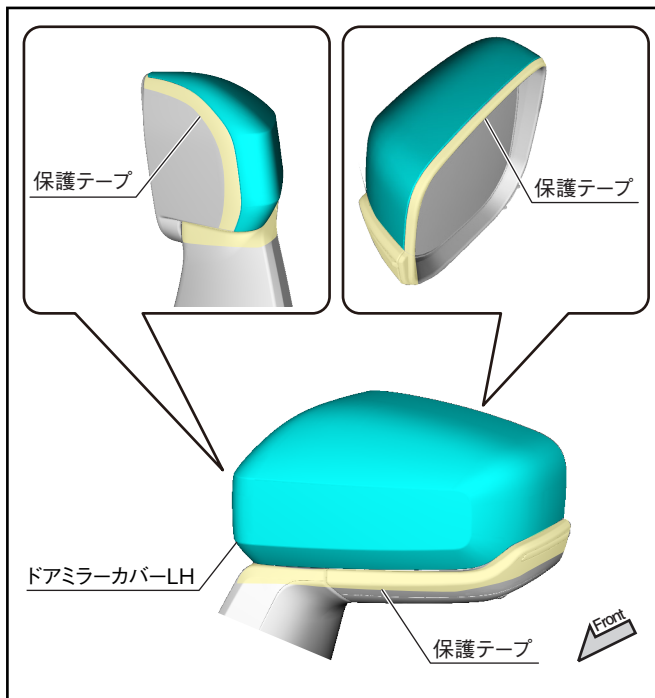
ミラーホルダー側の端子やヒーター回路を破損しないよう慎重に作業を行ってください。



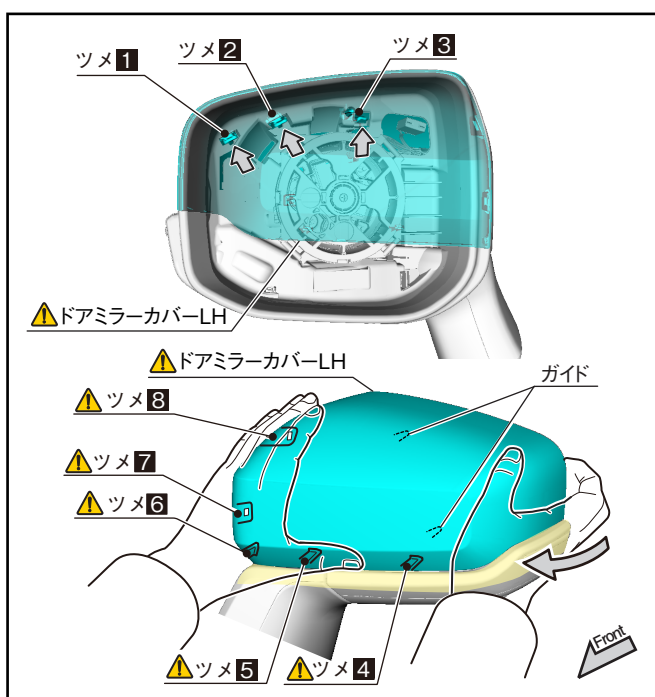
6. グローブ及びBSMコネクターの接続をはずし、ミラーホルダーLH(黒)を取りはずす。

□ ドアミラーカバー LH の取りはずし

1. ドアミラーカバー LH 及びドアミラー ASSY LH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼り付ける。

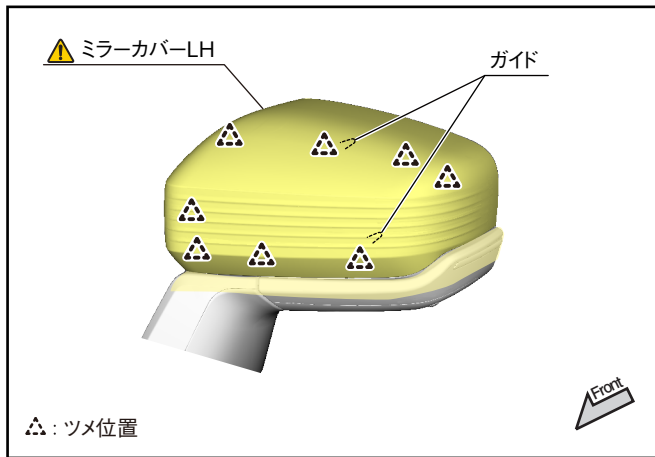


2. 図に従い、保護テープを巻いたマイナスドライバーでドアミラーカバー LH のツメ 1～3 を左図の矢印の方向に押しながら嵌合をはずす。
3. ドアミラーカバー LH の先端部を矢印方向へめくるように引いて、残りのツメ (5箇所) 4～8 の嵌合をはずし、ドアミラーカバー LH を取りはずす。



注意

- ・ ドアミラーカバー LH のツメ 4～8 の嵌合が固い場合はツメの破損防止の為、左図のツメ位置をドライヤーで人肌程度(約 40℃)に温めて取りはずしてください。
- ・ 加温し過ぎると変形・変色の原因となる為、ドアミラーカバーを温める際は、加温のし過ぎやドライヤーを近づけ過ぎないように注意してください。

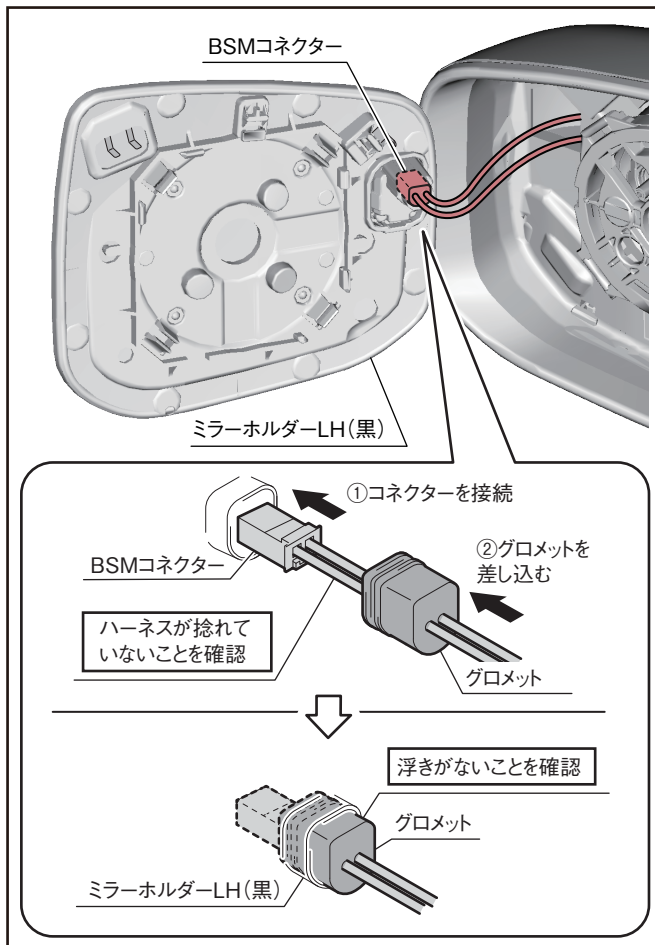


□ ミラーカバー LH の取り付け

1. ミラーカバー LH を正しい取付位置に仮合わせする。
2. ツメ (8箇所) を嵌合し、ミラーカバー LH を取り付ける。

注意

脱落の恐れがある為、ミラーカバー LH のツメ (8箇所) が確実に嵌合し、周囲に隙間や段差が無いことを確認してください。



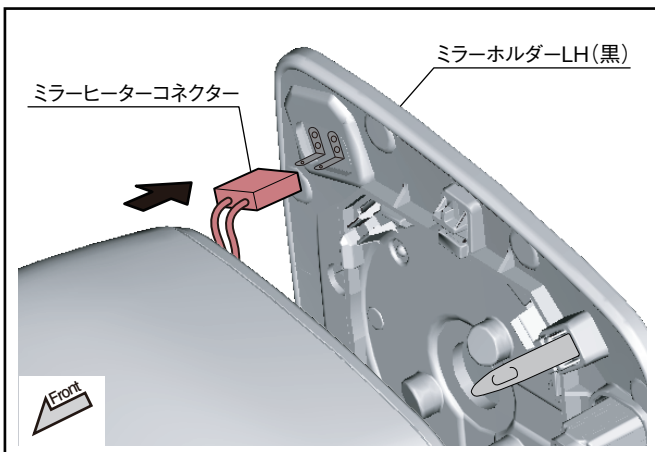
□ ミラーホルダー LH の取り付け

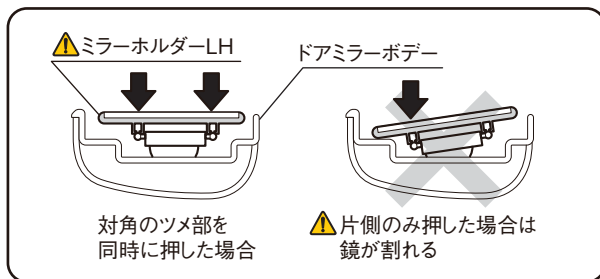
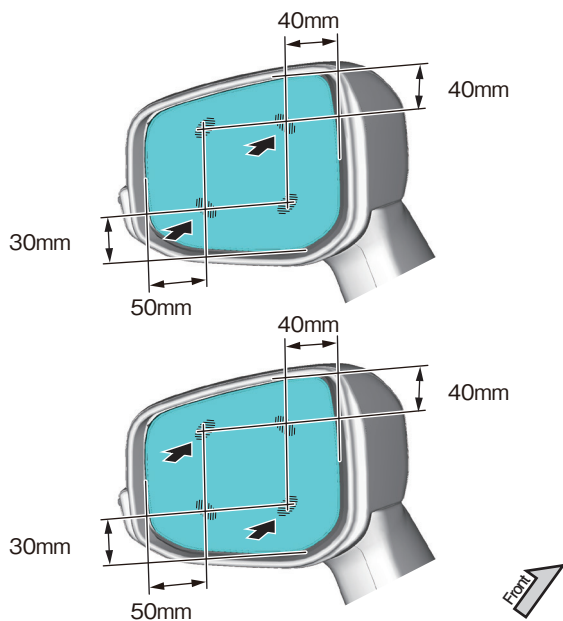
1. ミラーホルダー LH (黒) に BSM コネクター及びグロメットを接続する。

2. ミラーホルダー LH (黒) にミラーヒーターコネクターを接続する。

👉 アドバイス

ミラーヒーターコネクターは、どちらの向きで接続しても問題ありません。





- プレートピボット (白) をドアミラーボデー開口部と平行にする。
- ミラーホルダー LH (黒) 裏のツメとプレートピボットの嵌合位置 (4箇所) を合わせる。
- ミラーホルダー LH (黒) 裏のツメ (2箇所) に相当する位置 (図示斜線部) を同時にパチンと音がするまで押す。

注意

- ミラーホルダーが動かないように、必ず対角線上の2箇所を同時に押してください。
- ミラーホルダーを嵌合させる場合は、必ず指示位置を押してください。
プレートピボットを傾けた状態で押したり、ミラーホルダー裏のツメ位置から離れた部分を押すと、鏡面部が割れる場合があります。
- ツメの嵌合が固い場合は、ツメ部を人肌程度 (約40℃) にドライヤーで温めて作業を行ってください。(ツメの嵌合が固いまま押すとツメが破損し、正規に取り付かなくなるおそれがあります。)

- ミラーホルダー LH (黒) 裏の残りのツメ (2箇所) に相当する位置 (図示斜線部) を同時に押してツメを確実に嵌合させる。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

- 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、ないことを確認する。
- 車両及びドアミラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
- 該当車両の修理書 (トヨタ自動車(株)発行) に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

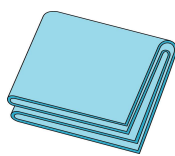


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



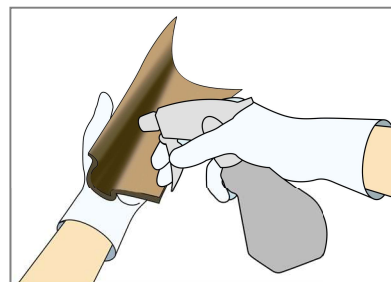
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

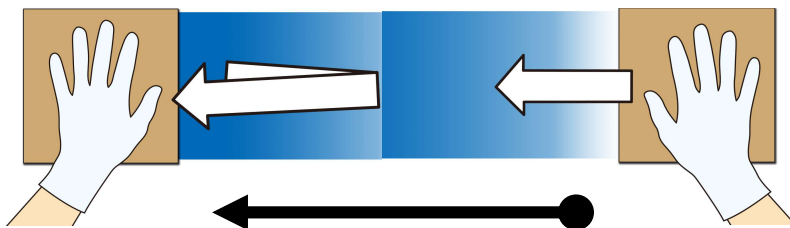
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

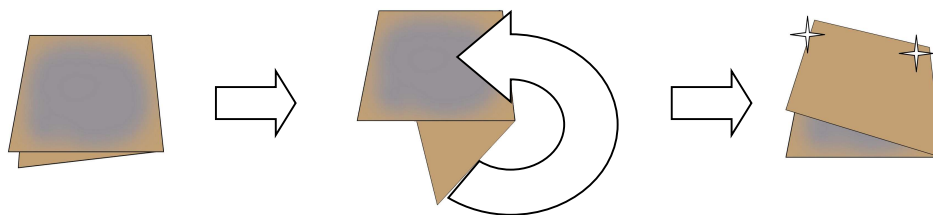
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。